

成功する中小企業の 経営戦略・事業計画

(株)マネジメントセンター

目次

1章 中小企業こそ、なぜ経営戦略が重要か

2章 経営戦略で、潰れない会社にする

3章 経営革新で、会社をどんどん成長させる

4章 経営計画作成の方法

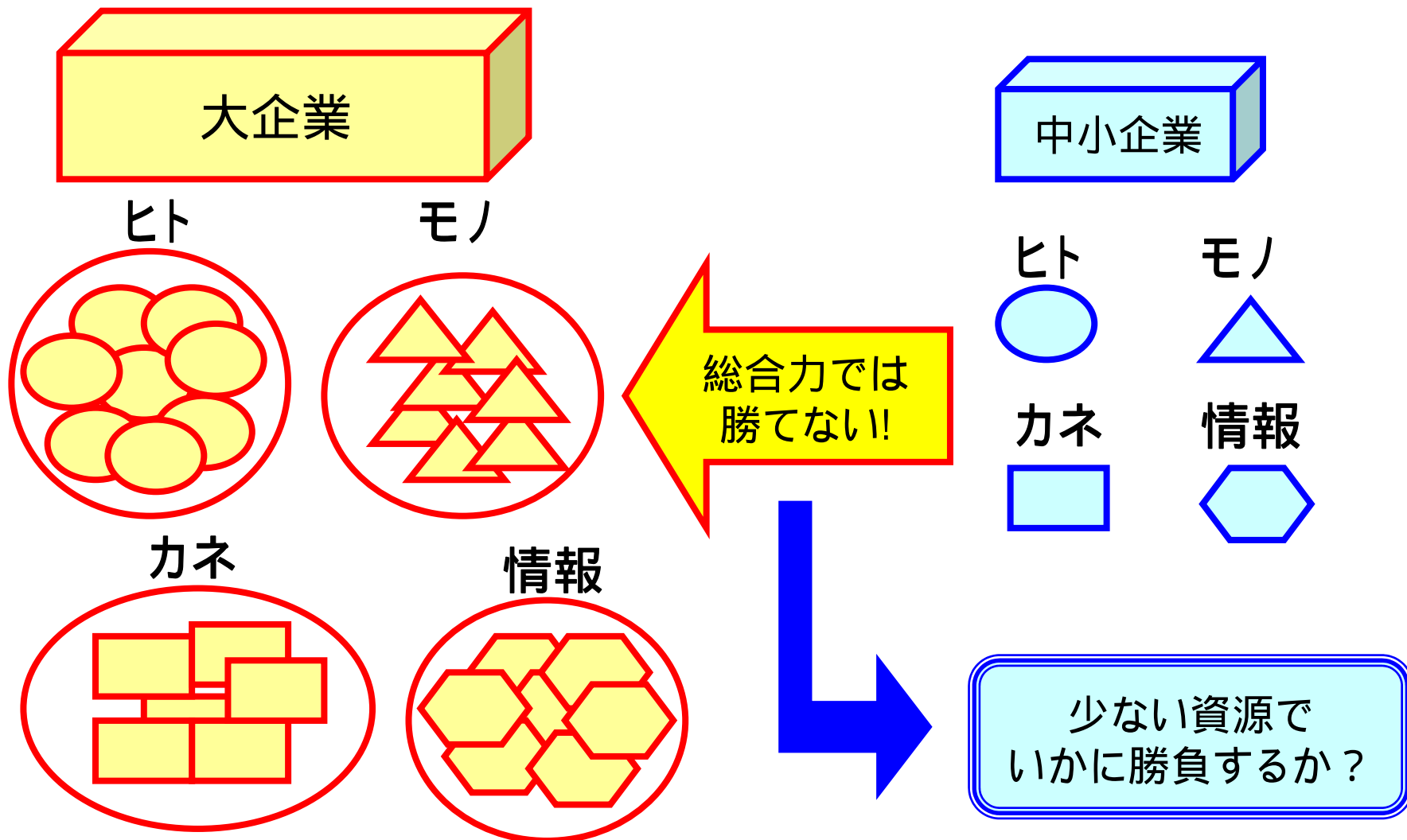
5章 成功事例で、ノウハウを学ぶ

1 章

中小企業こそ、
なぜ経営戦略が重要か

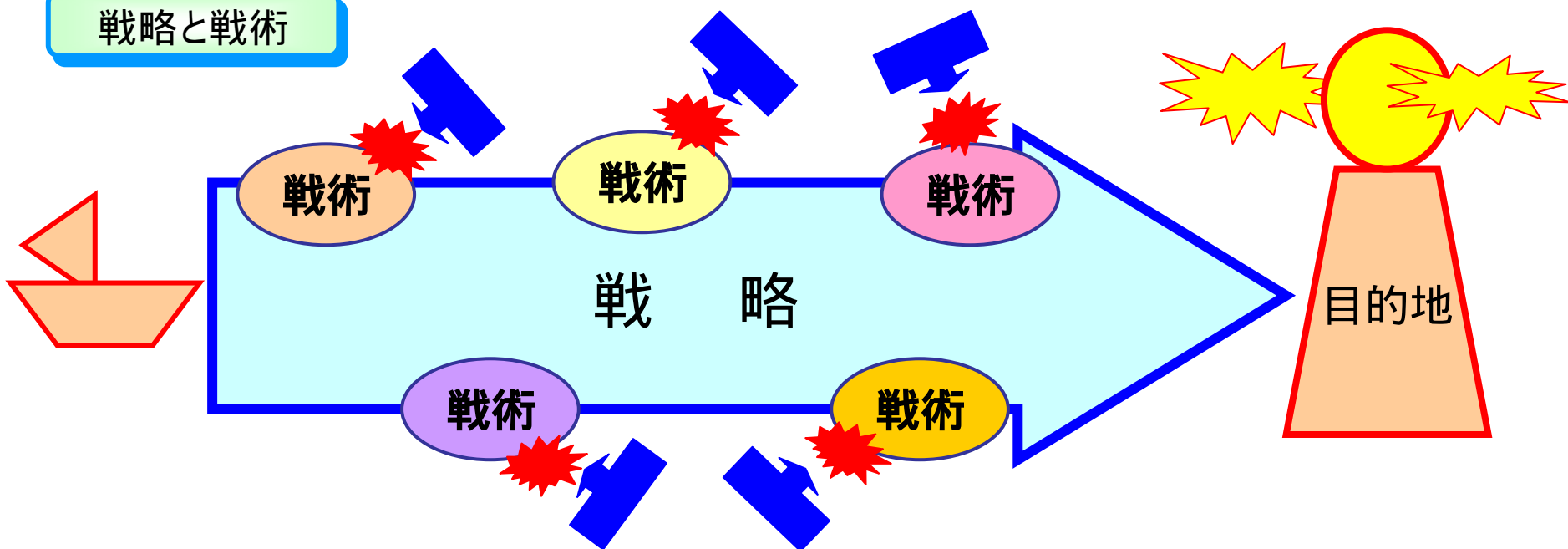
大企業と中小企業の資源の格差

資源の格差

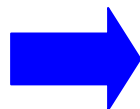


経営戦略とは

戦略と戦術

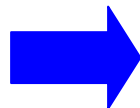


戦略



目的地へ到達するための羅針盤
どういうルートで目的地へたどり着こうか？

戦術

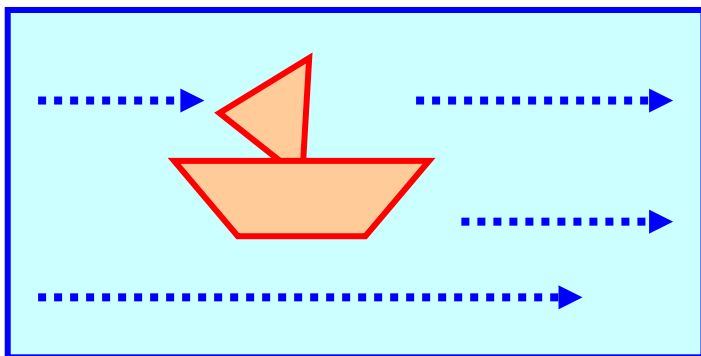


ある場面ごとの対処法
どうやってその場をうまく切り抜けるか？

戦略なき戦術では勝てない

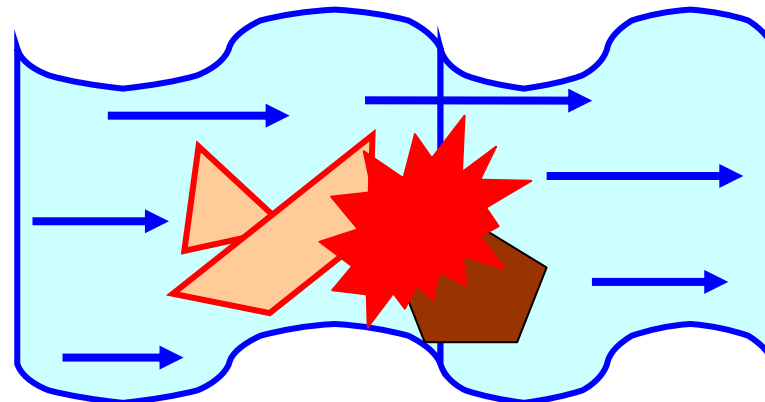
世の中の激しい変化が、経営戦略を必要としている

今まで（変化がゆっくりの時代）



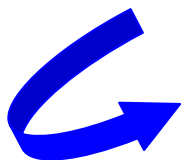
流れに身を任せても問題なし

これから（激しい変化の時代）



経営戦略（＝羅針盤）がないと、
激しい変化の波にのまれてしまう

その場しのぎ（＝戦術）だけでは、激しい変化に対応できない
「いつ、どんなことに出くわすか？」をあらかじめ想定



戦略があるから、戦術が生きてくる

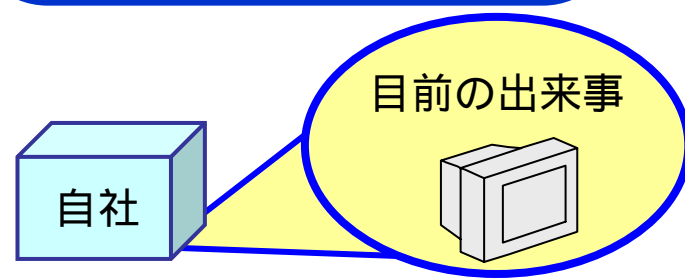
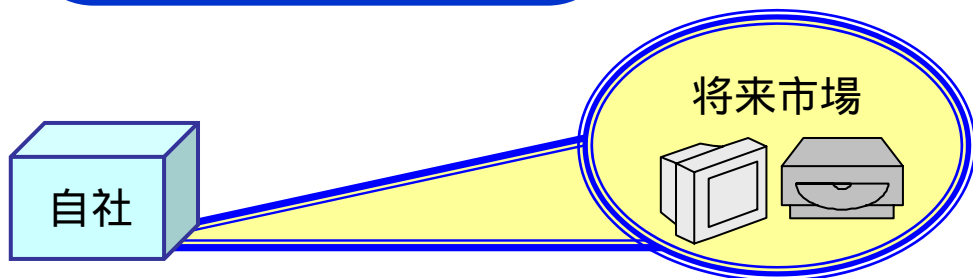
戦略思考と現場思考

「戦略思考」「現場思考」の順で

将来構想からの発想
(戦略思考)



今を何とか乗り切る発想
(現場思考)



進むべき方向を決める
大きく、重要な問題に絞る
決定までの過程を重視する

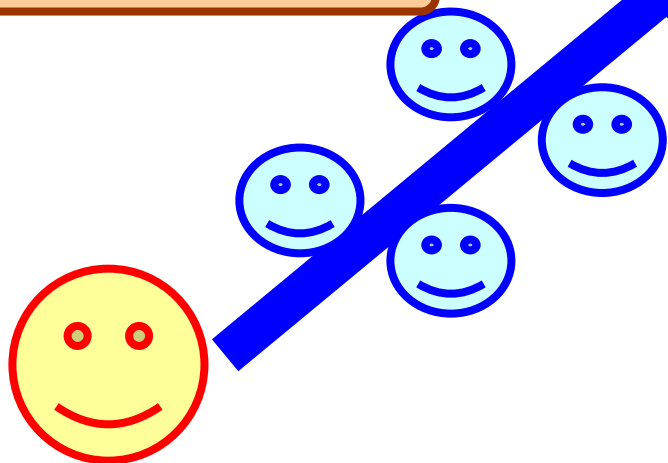
今までの延長線上で考える
細部にまで徹底的に気を配る
やり方の改善

どちらの思考が良いか、悪いかではなく、思考の順番が大切!
「戦略思考」で大きな方針を決めてから、「現場思考」で仕上げをする

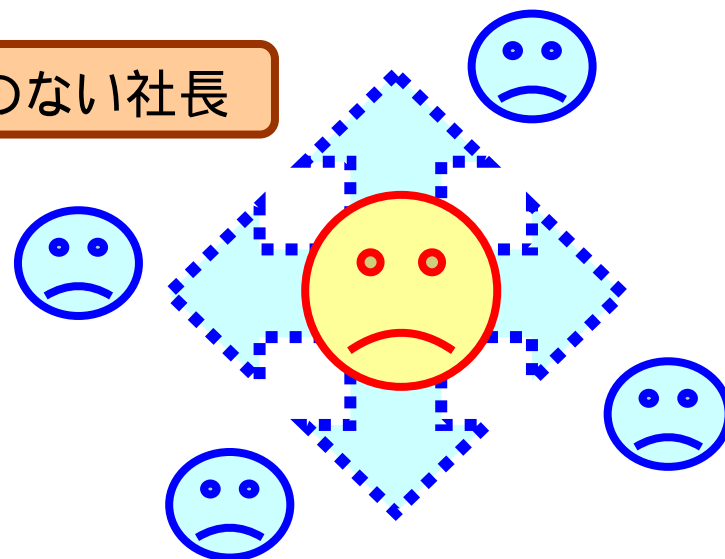
戦略で自社の一体感を

戦略で方向性を一致

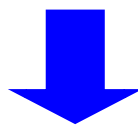
戦略のある社長



戦略のない社長



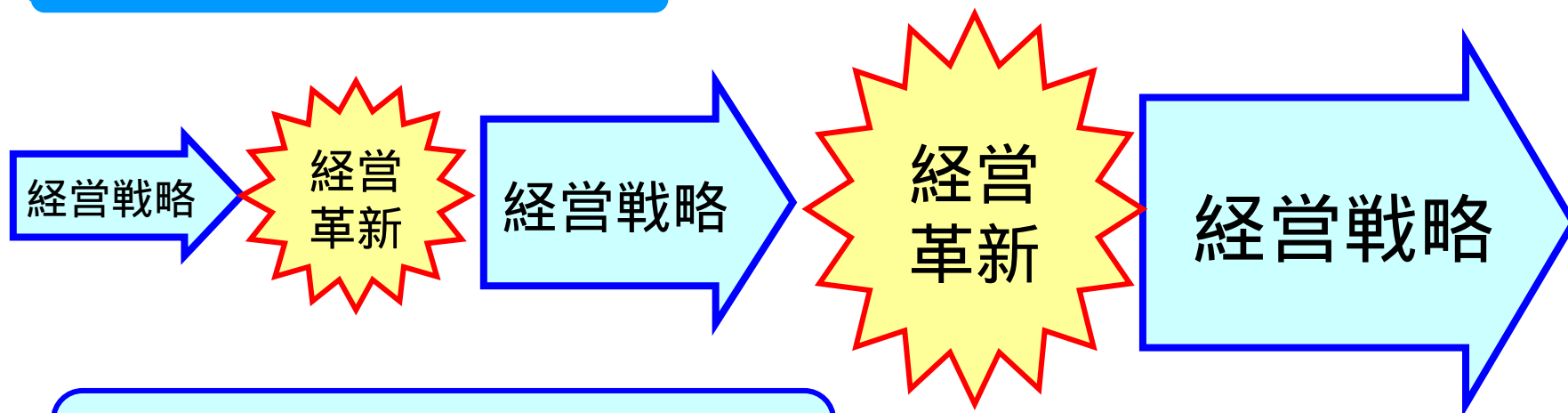
社長の戦略が明確になっていないと、社員の力が発揮できない



少ない経営資源を有効活用するためにも「経営戦略」が必要

経営戦略と経営革新

「経営戦略 + 経営革新」が必要



世の中の状況は変化する
「経営戦略」も見直しが必要

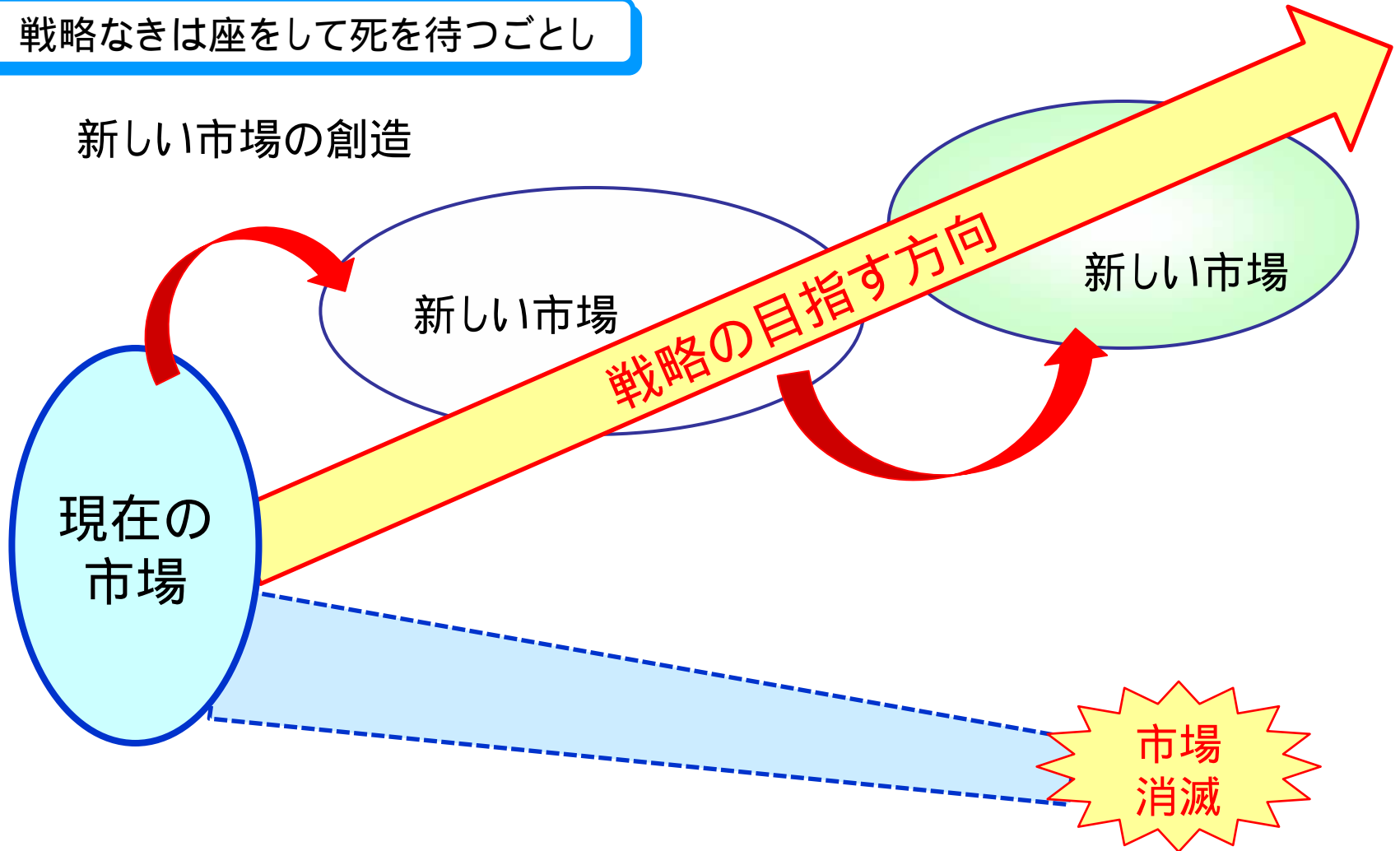


「経営戦略 + 経営革新」を進めると、「強い」企業になる

変化しないことはリスクである

戦略なきは座をして死を待つごとし

新しい市場の創造



既存市場にこだわっているとチャンスを逃す

演習1 - 1 (問題)

次の太田社長のやり方をどう思いますか？

太田社長は、各事業部の意思を尊重する経営をしています。毎年各事業部に来期の経営計画を立てさせ、それを経営企画室が集めます。経営企画室は、各事業部の調整を念入りに行って、最終的に全社の経営計画をまとめています。

社員の自主性を尊重した「戦略家」である。

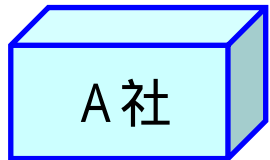
各事業部の意見の寄せ集めは「戦略」ではない。

「戦略的」な経営計画の立て方である。

各事業部方針は、先に全社方針を決めてから行うべきである。

演習1 - 2 (問題)

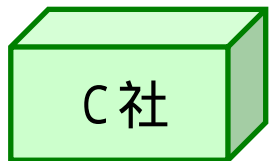
次の4つの中で、「戦略的」なものはどれでしょう？



従業員からの提案をもとに、工場
の生産ラインの改善活動を推進中



社長のトップダウンで、工場
の生産ラインの改善活動を推進中



社長のトップダウンで、タイへ工場を建設



社長のトップダウンで、新規事業を開始